

平成 29 年 4 月 9 日

# 「大阪府市再編問題」を巡る今後の動き

京都大学大学院 藤井聡

## 1. 特別区設置協議会

- ・大阪市廃止・特別区設置は、「特別区設置法廷協議会」（法定協）が無ければあり得ない。
- ・しかし、3月の府会・市会では、「法定協は規定路線」と言われていた。「維新」と「公明」が、法定協設置に賛成の見通しだったため。
- ・しかし、「公明」が「態度保留」（規約案に修正を求めた）としたため、5月に審議が持ち越されることに。
- ・ただし、公明大阪市議団の「法定協設置へ賛成」すれば、彼らがウソを付いたという事を正式に認めた、と言われても、そしてそれは、「今まで公明党を支持してきた方々を裏切る事」だと言われても、否定しがたい状況となる。

※ 「二年前に法定協設置に賛成した際の公式見解＝住民投票結果を徹底的に尊重するから、自分達は都構想に反対だが、法定協設置には賛成する」という主張がウソであったことを認めることになる。

## 2. 堺市長選

- ・現在、堺市長は、都区制度反対。しかし、「都区制度賛成」の堺市長が誕生すれば、「都区制度」の実現可能性が一気に変化。

可能性 1：大阪市と堺市の双方を廃止して特別区を設置する案が実行される・

可能性 2：大阪市で都区制度を実現。その後、堺市の判断で（投票を経ず）堺市も解体。

- ・都区制度賛成候補者として噂されている人物：元よみうりTVアナウンサー清水健氏  
『新潮 45』4月号で、適菜収氏が、この件で大変重要なお指摘。

『維新の会が堺市長選に元読売テレビアナウンサーの清水健を擁立すると報じられた。清水は「(出馬は) まったくない」「混乱してるというか、迷惑している状況です」と完全否定（二月二五日）。

松井も「政治的オファーは一切しておりません」「ご本人もすごい迷惑でしょう。これで、何か維新と政治的につながりがあるとか思われて、講演活動に支障をきたしたら申し訳ない」と否定した（二月二三日）。

これは松井の言うとおりの。「何か維新と政治的につながりがある」と思われたら、全人格を否定されるようなものだ。卑劣で愚劣で頭のイカれた人間の屑だと。ここまで言い切った清水が万が一、維新の会から出馬したら、人間の屑以下ということになる。人間には最低限の矜持と尊厳があると信じたい。』